

校内研修方針

平田野中学校研修部

1 研修主題および領域

| |
|--|
| 2025年度研修主題 |
| 「学び合い」から互いを認め合い、生きる力をもつ生徒の育成 ～探究のプロセスを活用して～ |
| 主な領域 全領域 |

2 主題設定の理由

学習指導要領では、(1)「何を学ぶか」、(2)「どのように学ぶか」、(3)「何ができるようになるか」が改訂のポイントとして示されている。その内、「何ができるようになるか」では、「生きて働く知識・技能の習得」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成」、「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」が重要であるとされる。今後の社会における予測不能な問題を解決するためには、「自分の考え」を持つとともに、他者と考えを伝え合い協働する中で人間性を育み、「自分は何を学び、何ができるようになったのか」を思考して振り返ることで自己認知を高め、社会を生き抜いていく力を形成していく必要がある。

本校の生徒は落ち着いて学校生活を送っており、問題行動を起こす生徒は少ない。授業規律は ある程度守られている。しかし、アンケート項目「授業中、進んで発言したり、考えを発表したりしている」に対して肯定的な意見が60%と他項目と比較して低い結果が出ている。一方で、「授業では、自分の考えや疑問を発言しやすい雰囲気がつくられている」に対しては 81%の肯定的な意見がある。このことから、授業で自分の考えを発言しやすい雰囲気はあるが、それを発信する機会がなかったり、学びに向かう力が育まれていないことが推察される。また、「1時間の授業の中で、今何をしているのかわからないことがよくある」では、45%の生徒があてはまると回答していることから、主にC層D層が授業の中で困り感を抱えていることも推察される。

そこで、本校では昨年より続けている「学び合い」を通して、自分の意見を表現するとともに他者の考えを聴き、互いの考え方の違いを認め合い協働することで困り感を抱えている生徒も学びに向かう姿勢を身につけられるよう取り組んでいく。また、充実したICT環境を生かして、自分の考えを発信しやすい場を設けるとともに、授業力UP5にも位置づけられている「探究のプロセス」【課題の設定(めあて)→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現→振り返り】を活用することで生徒が主体となって学びに向かい、この時間を通して何を学んだかを振り返り自分の言葉で概念化していく取り組みをしていく。

以上のことから、

「学び合い」から互いを認め合い、生きる力をもつ生徒の育成～探究のプロセスを活用して～を目指し、授業改善、学力向上に取り組みたい。

そのための手段として、

- ①生徒が主体となる授業づくり
(探究のプロセスを活用して)
- ②「確かな学力」をつけるための「わかる授業」の実践
(生徒の実態を常に把握し、授業のユニバーサル化を目指す)
- ③ふり返りの強化
(授業における学びの概念化、他者参照からの深い学び)
(めあてと振り返りの必然性をもたせる)

以上のことを行っていく。

3 目指す生徒像

- ①学習課題に対して、生徒が自ら課題を設定し、主体となって学びに向かう。
- ②仲間と協働して学習に取り組み、自分の考えを表現するとともに他者の意見を認め合い自分の学びに繋がられる。
- ③授業(または単元)で何を学び、何ができるようになったのか自己を振り返り、自分の学びを発信できる。

4 研修部会の具体的な取り組み

(1) 授業改善・授業研究

- ① 全教員が公開授業の企画。(授業公開週間、公開授業)
- ② 校内研修や公開授業の事後検討会において、授業改善に向けての取り組みの提案。
- ③ 探究のプロセスを活用できるような「総合的な学習の時間」の授業づくりの提案。

(次年度に引き継ぐための記録)

(2) 基礎学力の向上

- ① 授業や長期休暇に学 VIVA 等を効果的に活用して個に応じた基礎学力の定着を図る。
- ② 情報技術を活用した家庭学習や基礎学力の向上の方法を検討する。
- ③ よむYOMUを活用して読解力の向上を目指す。

(3) 研修の取り組みについての分析

- ① 授業改善を目的とした生徒意識調査・教員意識調査を実施する。
- ③ 全国学力・学習状況調査、みえスタディチェックを分析する。
- ④ 各種通信で結果等を保護者と共有し、学校の取組を発信していく。

(4) 校内研修の企画・運営

- ① 各部会における研修会の企画。「みんなのひらたの」の視点で
- ② 事後検討における講師の派遣依頼、運営。

5 全職員共通の取り組み

- ① 授業力 UP5(探究のプロセス)を意識した授業改善を行う。(参観の視点も同様)
- ② 定期的に教科部会等で授業改善や交流をする。公開授業前には指導案の検討を行う。

定期テスト前には部会でテストの検討を行う。

- ③ 家庭学習の促進,基礎基本の定着に向け,定期的に宿題を確認する

[教科担当の先生で記入]

※宿題については、ホワイトボードの活用 の活用をお願いします。

- ④ 生徒の端末活用を促すための学習活動を週 1 回以上行う。

※授業で生徒が端末を活用し、協働的、個別最適な学びにつなげる。

- ⑤ 校外研修や他校の公開授業への積極的な参加を推奨

2025年度 平田野中学校研修年間計画 (2025.04版)

「学び合い」から互いを認め合い、生きる力をもつ生徒の育成～探究のプロセスを活用して～

| | 月日 | 内容 | 形式 | 授業者 (担当者) |
|-------------|---|--|------------------|---------------------|
| 1 学 期 | 4月4日 (金) | 校内研修「特別支援教育」 「今年度の総合の授業について」 | 全体会 | 特別支援教育 研修部 |
| | 4月22日 (火) *職員会議前 | 校内研修会「 」 | 全体会 | 生徒支援部 |
| | 6月23日 (月)～ 7月4日 (金) 研究授業 6月24日 (火) | 第1回授業公開週間 & 研究授業 (2年生) ・指導案〆:6月18日 (水) ・1、3年は4限後給食→下校 | 授業公開 (事後研修あり) | 全教員 研究授業 2年部 |
| 夏 休 み | 8月8日 (水) | AM 幼小中合同研修会 (生指・人権・学力) | 全体会と分科会 @平田野 | 研修部 分科会担当部 |
| | 8月8日 (木) | 教育講演会 | 全員学習会 | 研修部 |
| | 8月20日 (水) | 教研集会 | 鈴教研 | 研修部 |
| 2 学 期 | 9月17日 (水) *職員会議後 | 校内研修「 」 | 全体会 | 人権部 |
| | 9月29日(月)～ 10月10日(金) 研究授業 10月1日 (水) | 第2回授業公開週間 & 第2回研究授業 (3年生) ・指導案〆:9月24日 (水) ・1、2年は4限後給食→下校 | 授業研究 (事後研修あり) | 全教員 研究授業 3年部 |
| | 12月10日 (水) *職員会議後 | 校内研修「 」 | 全体会 | 特支・相談部会 |
| 3 学 期 | 1月19日(月)～ 1月30日(金) 研究授業 1月20日 (火) | 第3回授業公開週間 & 第3回研究授業 (1年部) ・指導案〆:1月13日 (火) ・2、3年は4限後給食→下校 | 授業公開 (事後研修あり) | 1,2年生教員 研究授業 1年部 |
| | 3月18日 (水) *職員会議後 | 校内研修「本年度の課題と成 果・次年度に向けて」 | 全体会 | 研修部 |

※予定は変更することがあります